

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 1 区分
【発行日】 平成 19 年 7 月 26 日 (2007.7.26)

【公開番号】 特開 2006-194650 (P2006-194650A)
【公開日】 平成 18 年 7 月 27 日 (2006.7.27)
【年通号数】 公開・登録公報 2006-029
【出願番号】 特願 2005-4648 (P2005-4648)
【国際特許分類】

G O 1 R 15/20 (2006.01)

H O 2 M 7/48 (2007.01)

【F I】

G O 1 R 15/02 B

H O 2 M 7/48 Z

【手続補正書】

【提出日】 平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

バスバーと、ギャップ部を有し、前記バスバーを貫通させたコアと、前記バスバーと前記コアをモールドしたケースと、前記コアのギャップ部に配置される磁束密度検出素子と、前記磁束密度検出素子を搭載する回路基板とを有することを特徴とする電流センサ。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の電流センサにおいて、

前記バスバーは、ボルトによって接続されることを特徴とする電流センサ。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の電流センサにおいて、

前記バスバーは、ナットによって接続されることを特徴とする電流センサ。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の電流センサにおいて、

前記バスバーは、屈曲構造であることを特徴とする電流センサ。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の電流センサにおいて、

前記バスバーは、少なくとも 2 つ以上の部材により接合されてなることを特徴とする電流センサ。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の電流センサにおいて、

前記ケースは、前記バスバーに設けられたコア貫通部と平行にケース固定用の穴を有することを特徴とする電流センサ。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の電流センサにおいて、

前記ケースに設けられた前記バスバーと前記コアとをモールドしているモールド部は、前記回路基板と前記バスバーとの沿面をモールドしていることを特徴とする電流センサ。

【請求項 8】

バスバーと、前記バスバーをモールドした第 1 のケースと、前記バスバーを貫通し、前

記第 1 のケースに固定される第 2 のケースと、前記第 2 のケース内に固定され前記バスバーを貫通するギャップ付きコアと、前記コアのギャップ部に配置される磁束密度検出素子と、前記磁束密度検出素子を搭載する回路基板を有する電流センサ。

【請求項 9】

バスバーと、ギャップ部を有し、前記バスバーを貫通するコアと、前記バスバーと前記コアをモールドしたケースと、前記コアのギャップ部に配置される磁束密度検出素子と、前記磁束密度検出素子を搭載する回路基板とを有してなる電流センサと、前記電流センサを出力端子台として前記バスバーを介して半導体モジュールまたは前記半導体モジュールを有するコントローラに接続されていることを特徴とする電力変換装置。